

TEN!

多摩市立豊ヶ丘小学校

4年1組学級通信 No.14

令和2年7月22日

校長 小畑 行広

担任 大場 丈寛

「バック・トゥ・ザ・ベース」 体育ベースボール型ゲームの授業

「密」の状態にならない
ように取り組んでいます！

この半円の中がアウト
ゾーン。守備は、取っ
たボールをとにかく早
く返そう！

1点コーン

2点コーン

3点コーン

4点コーン

4点のコーンを折り返したとしても、ベースに戻る
より守備側の「アウト！」が早ければ0点！
2往復までできるので、1度に最大8点入ります！

ランナーコーチ

校庭での体育の授業は、「バック・トゥ・ザ・ベース」というオリジナルのベースボール型ゲームを始めました。このゲームは、攻撃側は打球を見て何点取れるかを判断して走る所を決めることを、守備側は進塁を防ぐために、守りを工夫することを、を考えることをねらいとしています。

ゲームの流れとして、ピッチャーがトスしたボールをバッターが打ち、コーンに向かって走ります。走路には1, 2, 3, 4点のコーンが置いてあり、奥に行くほど高得点です。自分がどのコーンで折り返すかを決め、今度はホームベースに向かって走ります。高得点のコーンをねらうほど、走る距離は長くなります。守備は、ボールを取ったら、アウトゾーン（図参照）に投げて返し、守備チームの誰かがアウトゾーンでボールを持って「アウト！」と言います。

そして、バッターがホームベースを踏むのと、守備が「アウト！」と言うのでどちらが早いかで、得点が決まります。バッターが早ければ、折り返したコーンの点数が入り、守備側の「アウト！」が早ければ0点です。バッターは何点コーンをねらうのかは非常に難しいです。

そこで、役に立つのがコーンの脇にいるランナーコーチです。バッターはランナーコーチの「ストップ！」または「ゴー！」の指示によって進むか折り返すかを決めます。攻撃側のバッターとランナー以外の選手はやることが少なく、このゲームは全員参加の意識をもつことができる点がよい点だと感じています。

小さいボールを投げたり打ったりしたことはあまりないという児童が多かったです。楽しみながら取り組んでいます。バットにボールが当たったり、打球が飛んだりした時にはうれしいようで、笑顔で走っていく姿が見られます。守備でも飛んできたボールを怖がらずに止めようという姿が見られることが成長です。